

全国学力・学習状況調査の分析と改善策について

令和7年11月28日

1 全国学力・学習状況調査〔4月14日（理科・質問紙）・17日実施（国語・数学）〕の概要

中学校3年生を対象に、「教科に関する調査」と「生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査」を実施しました。今年度の調査対象教科は国語・数学・理科の3教科でした。

お子さまの学習及び生活状況の把握・分析を通して、今後の授業改善や生活指導等に生かしていくとともに、分析結果をご家庭や地域へ発信することにより、子どもたちの様々な資質・能力を、家庭・地域のご協力を得ながら育みたいと考えています。

なお、令和7年度全国学力・学習状況調査の「調査問題」、「正答例」、「解説資料」については、右記のQRコードまたは下記のURLで見ることができます。調査問題と照らし合わせて調査結果を見ていただくとより理解できます。

〔出典：国立教育政策研究所HP <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>〕



2 教科（国語・数学・理科に関する調査結果の概要）【数値は全国平均との差】

国 語	得意としている力	△読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができる【+16.9P】 △資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる【+7.1P】
	苦手としている力	▼読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる【-7.5P】
	〔成果〕 〔課題〕	◎平均正答率が全国平均を上回っており、特に「書くこと」の領域で全国平均よりも正答率が高い。 ●「読むこと」の領域が全国平均を下回っている。
数 学	得意としている力	△一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる【+25P】 △素数の意味を理解している【+18.2P】
	苦手としている力	▼相対度数の意味を理解している【-15.1P】
	〔成果〕 〔課題〕	◎平均正答率が全国平均を上回っており、特に「数と式」「関数」の領域で全国平均よりも正答率が高い。 ●「データの活用」の領域が全国平均を下回っている。
理 科	得意としている力	△気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識・技能及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できる【+10.6P】 △気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付けている【+6.3P】
	苦手としている力	▼科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できる【-9.9P】
	〔成果〕 〔課題〕	◎特に「地球」の領域で平均正答率が高い。 ●「粒子」の領域が全国平均を下回っている。

3 生徒質問紙（学習習慣・学習内容・生活習慣）の調査結果の概要【数値は全国平均との差】

肯定的な回答	【学習内容習慣】	△国語の勉強は好きですか【+11.6P】 △国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか【+7.4P】 △理科の勉強は好きですか【+7.4P】 △理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか【+12.5P】 △PC・タブレットなどのICT機器を使ってプレゼンを作成できますか【+13.2P】
	【生活習慣】	△自分には、よいところがあると思いますか【+7P】 △学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか【+7.4P】
否定的な回答	【学習内容習慣】	▼1、2年生の授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか【-10.5P】 ▼自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか【-16.5P】
	【生活習慣】	▼学校に行くのは楽しいと思いますか【-14.9P】 ▼友達関係に満足していますか【-10.1P】 ▼地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか【-17.6P】

4 指導の改善策（結果を分析し、共通理解を図った重点的な取組）

（1）国語の改善策について

- 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題が見られます。文学的な文章を読み解くために、叙述を基に登場人物の性格を捉えさせたり、語句の意味を理解させたりするとともに、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力を身に付けさせていきます。

（2）数学の改善策について

- 不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において、数や式、表、グラフなどを活用して、数学的に処理することに課題が見られます。解決に必要な数値を度数分布表やヒストグラムなどを用いて、データの特徴や分布の傾向を読み取ることができる力を身に付けさせていきます。

（3）理科の改善策について

- 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することに課題が見られます。学習の振り返りで、これまで学習した知識を活用し、身近な自然の事物・現象について領域を横断して多面的、総合的に捉え、思考できる力を身に付けさせていきます。

（4）授業改善と基礎・基本の定着

- 全ての教科で、生徒が学習の目標や見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるよう授業展開しています。また、タブレット端末や大型テレビなどを効果的に活用し、学習交流や協働的な学びを取り入れ、より学習の質を高めるとともに、発表する場面を設定して表現力を育む授業づくりを工夫します。さらに、数学科や英語科では少人数指導を取り入れ、個々の学習状況に応じた学力向上を目指します。

（5）生徒質問紙調査の改善策

- 今年度は開校50周年記念行事に関連付けて、学年の枠を越えた異年齢集団での活動や隣接することも園の園児との活動、保護者と一緒の活動など、地域や多様な人との関わりを意図的に教育活動につなげて豊かな人間関係づくりに努めてきています。また、学級や学年の取組で、他者のよさや頑張りを認め合い、個性を尊重する実践を重ねています。

（6）家庭との連携について

- 望ましい学習習慣や生活習慣を身に付けていくためには、家庭と学校が連携した取組が重要になります。「学校の授業以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾等含む）」について、本校では「1時間以上」の割合が全国平均を上回り、「2時間以上」の割合が全国を下回りました。また、「学校の授業以外に1日当たりどれくらいの時間、タブレット端末を勉強のために使っていますか」について、本校では「3時間以上」の割合が全国平均の約3倍上回っています。今後は学習の内容や効果を検証し、質の高い自主学習と有意義な時間の使い方を支援します。